

図3-5 人口規模とデイサービス年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域

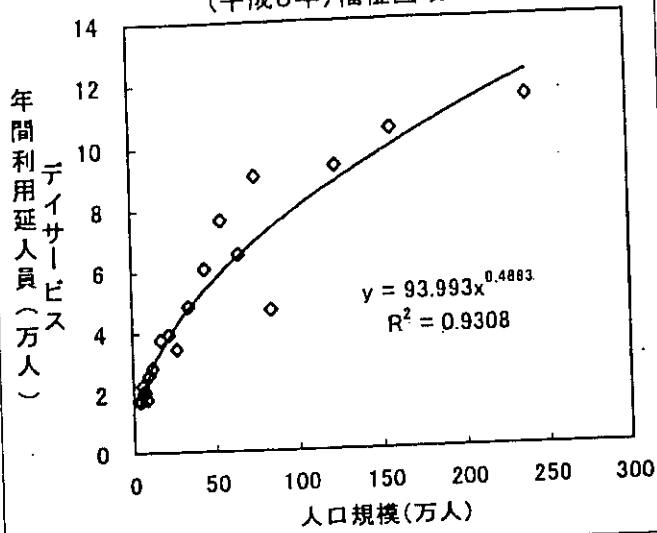


図3-6 人口規模と高齢者100人当たりデイサービス年間利用延人員(平成6年)福祉圏域

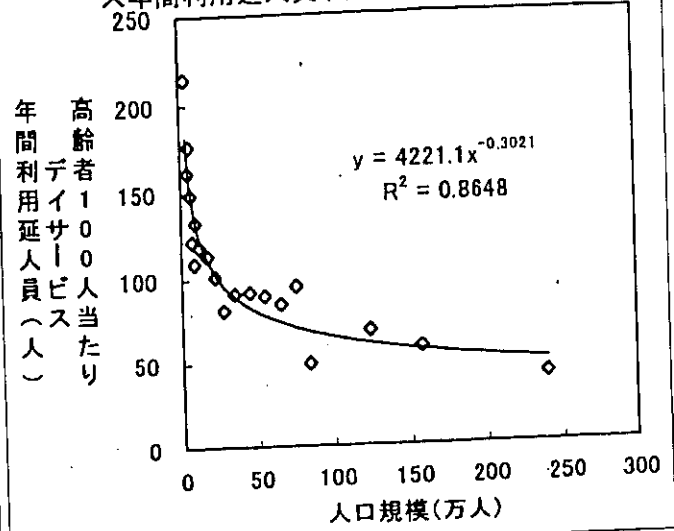


図3-7 人口規模とショートステイ年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域

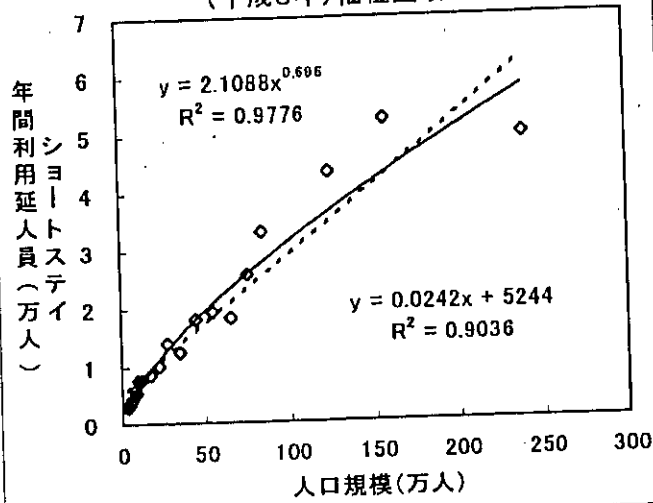


図3-8 人口規模と高齢者100人当たりショートステイ年間利用延人員(平成6年)福祉圏域

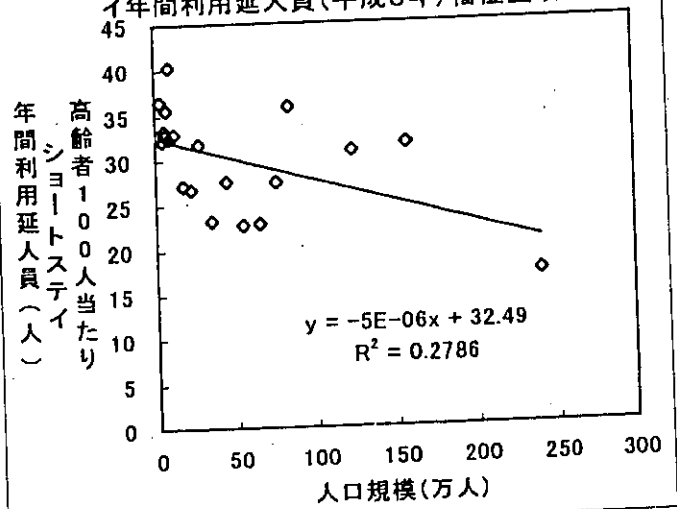


図3-9 人口規模と特別養護老人ホーム定員数
(平成6年)福祉圏域

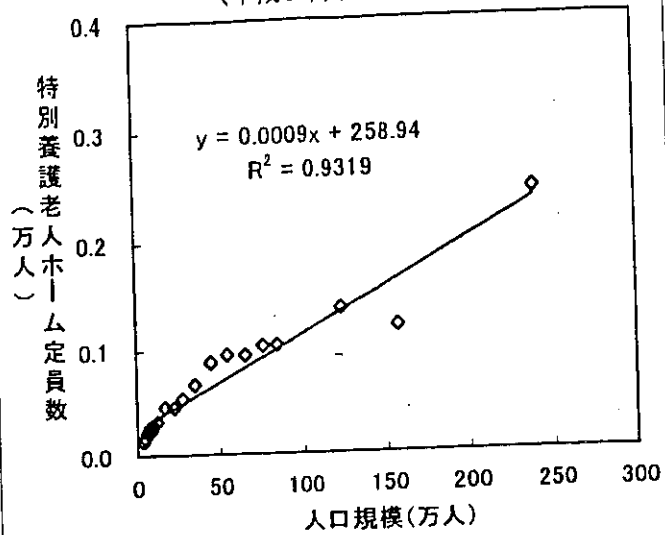


図3-10 人口規模と高齢者100人当たり特別養護
老人ホーム定員数(平成6年)福祉圏域

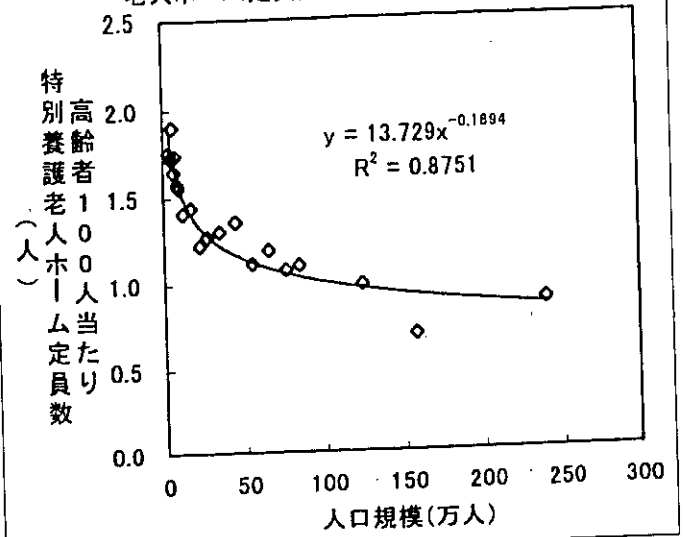


図4-1 高齢者数と人口規模
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

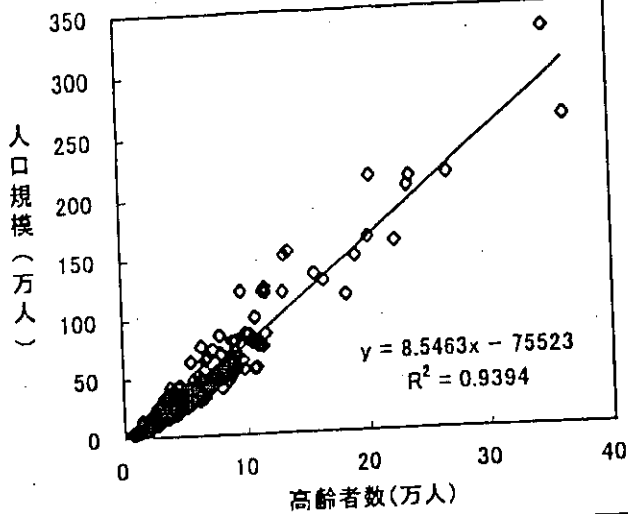


図4-2 高齢者数と高齢化率
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

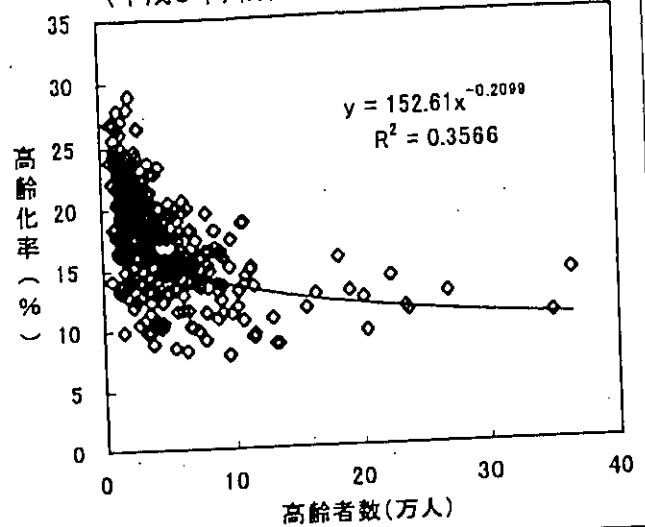


図4-3 高齢者数とホームヘルパー年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

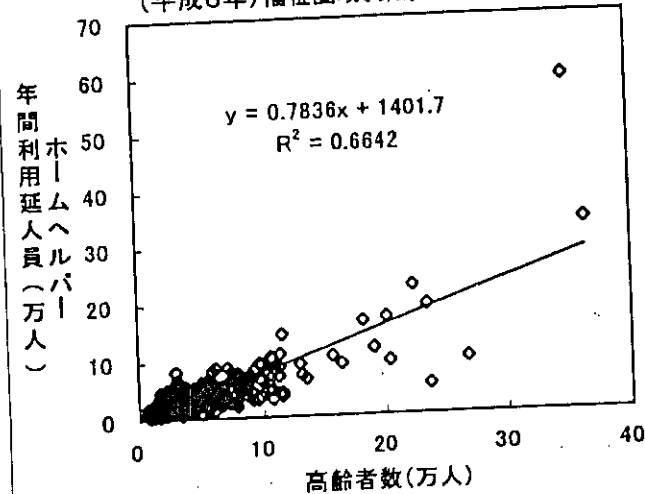


図4-4 高齢者数と高齢者100人当たりホームヘルパー年間利用延人員(平成6年)福祉圏域
東京都を除く

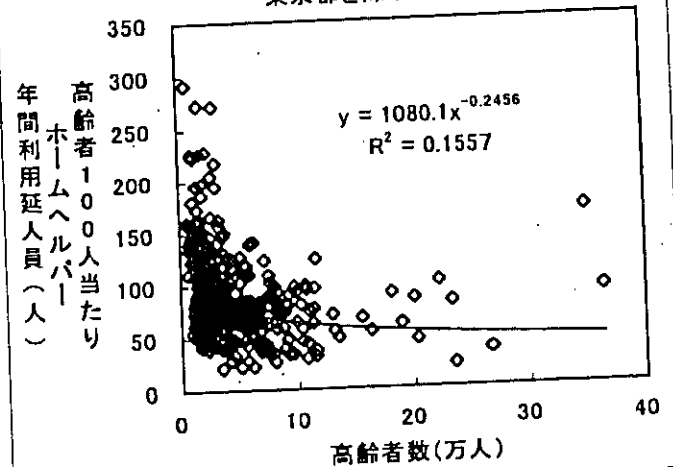


図4-4 高齢者数と高齢者100人当たりホームヘルパー年間利用延人員(平成6年)福祉圏域
東京都・大阪市・横浜を除く

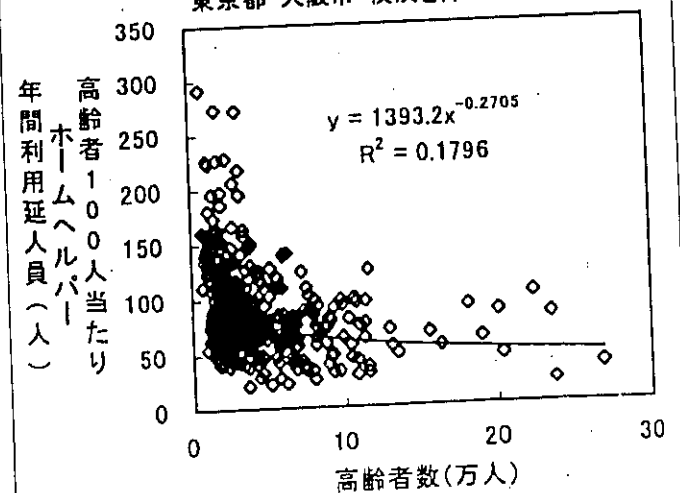


図4-5 高齢者数とデイサービス年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

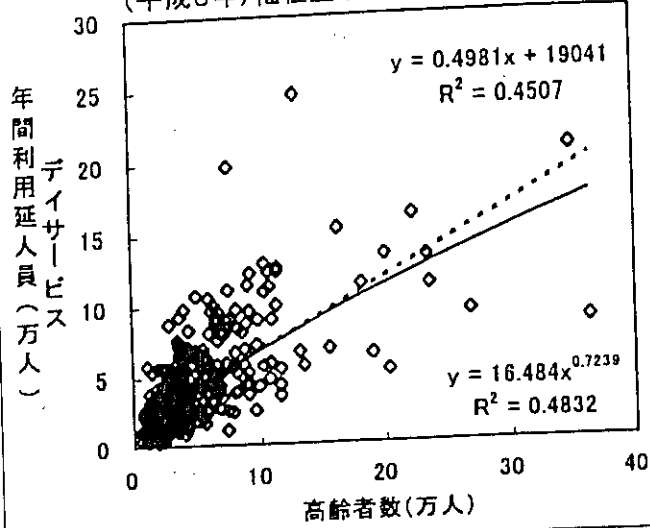


図4-6 高齢者数と高齢者100人当たりデイサービス
年間利用延人員(平成6年)福祉圏域
東京都を除く

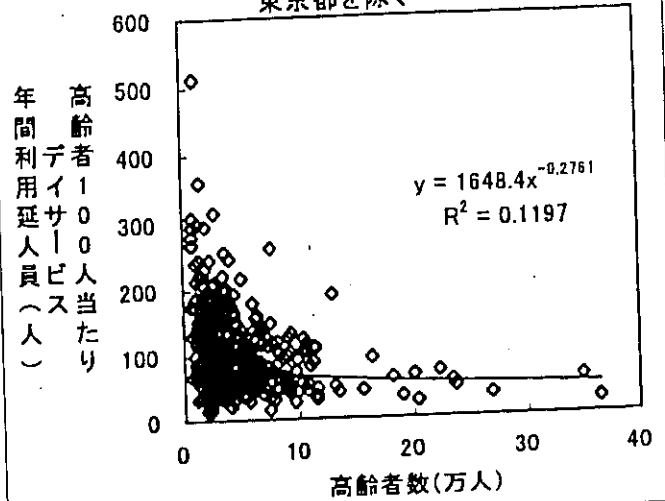


図4-7 高齢者数とショートステイ年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

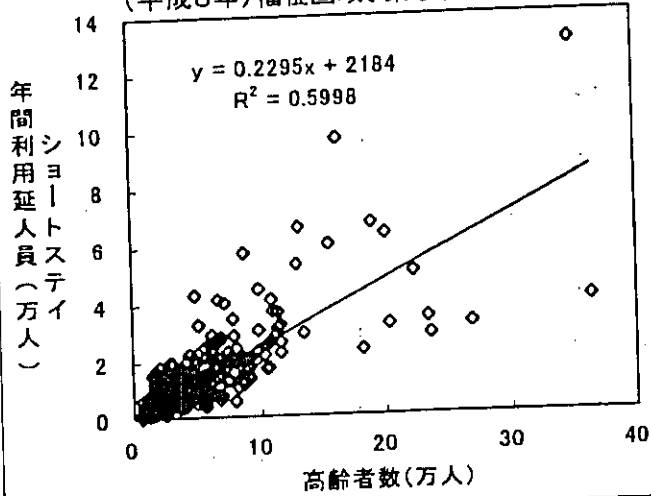


図4-8 高齢者数と高齢者100人当たりショートステイ
年間利用延人員(平成6年)福祉圏域
東京都を除く

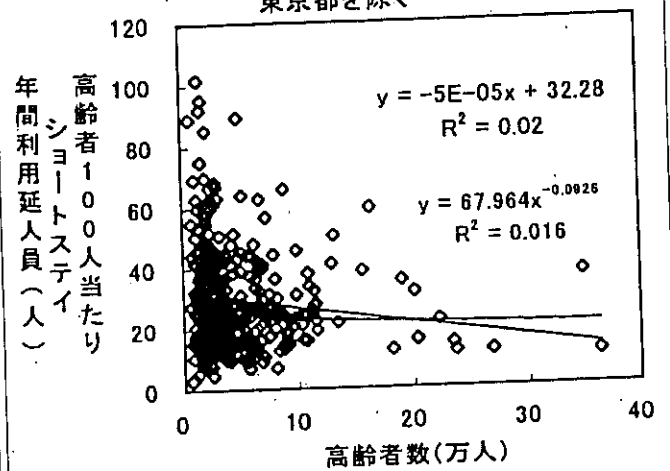


図4-9 高齢者数と特別養護老人ホーム定員数
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

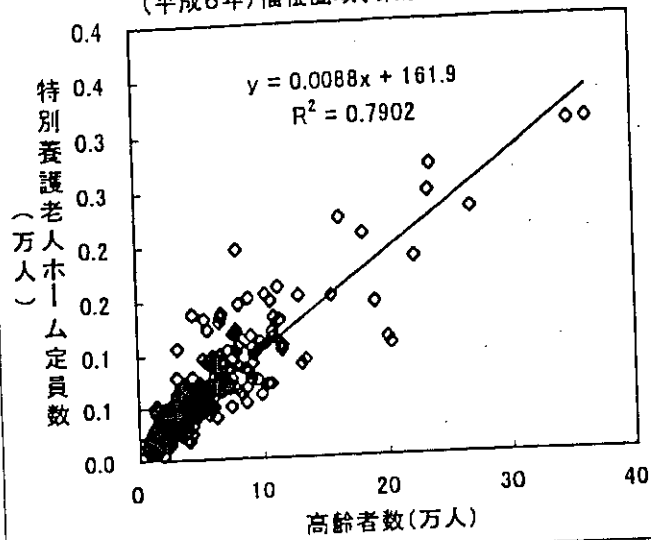


図4-10 高齢者数と高齢者100人当たり特別養護老人ホーム定員数(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

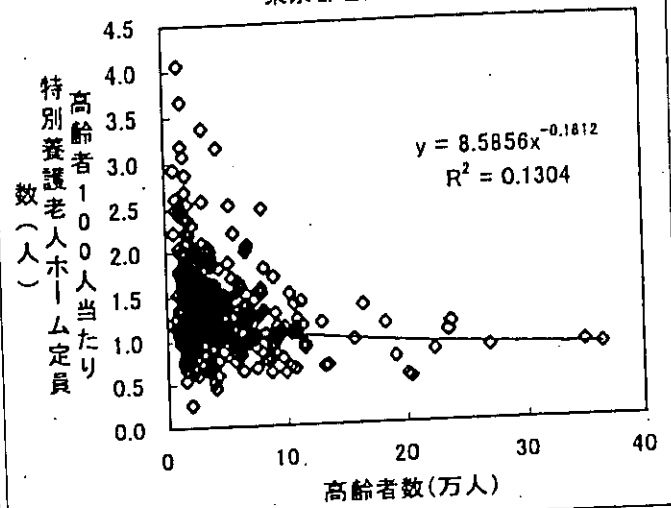


図5-5 高齢者数とデイサービス年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域

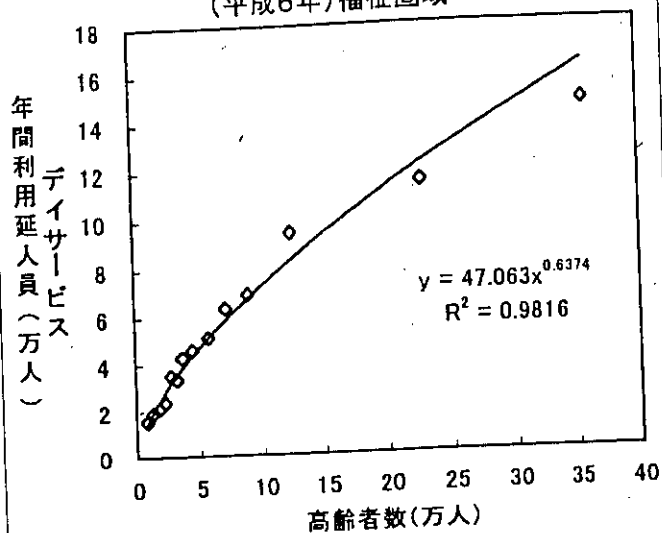


図5-6 高齢者数と高齢者100人当たりデイサービス年間利用延人員(平成6年)福祉圏域

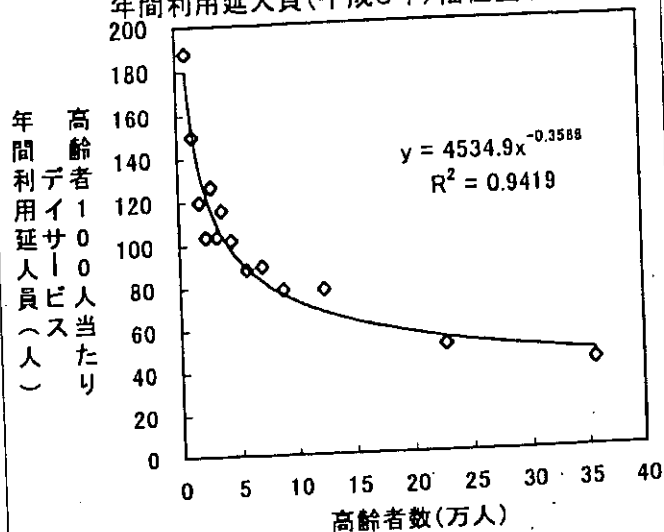


図5-7 高齢者数とショートステイ年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域

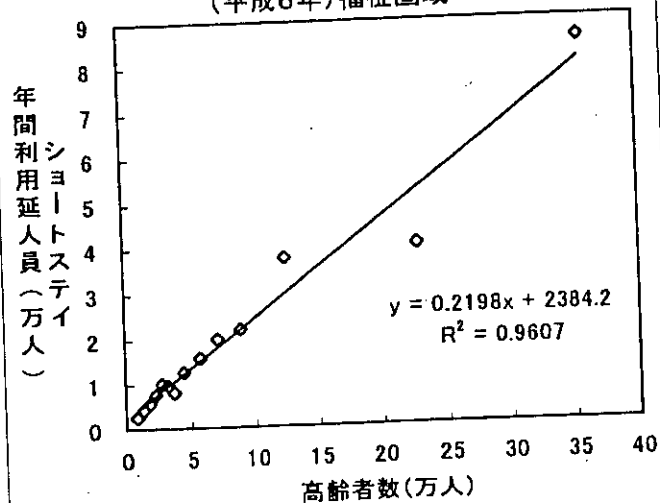


図5-8 高齢者数と高齢者100人当たりショートステイ年間利用延人員(平成6年)福祉圏域

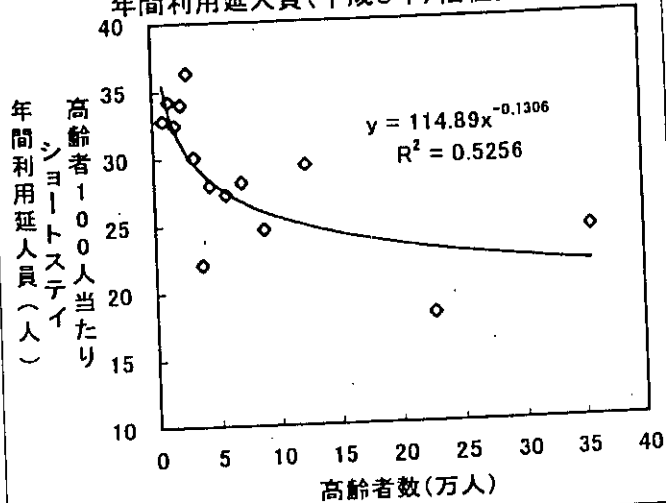


図5-9 人高齢者数と特別養護老人ホーム定員数
(平成6年)福祉圏域

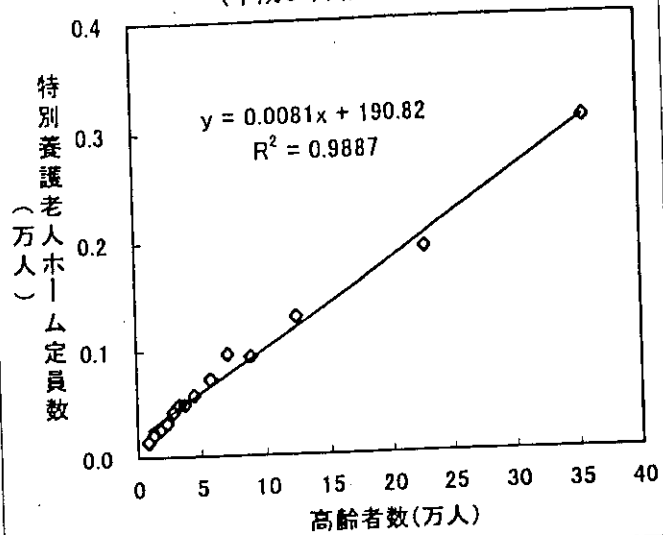


図5-10 高齢者数と高齢者100人当たり特別養護老人ホーム定員数(平成6年)福祉圏域

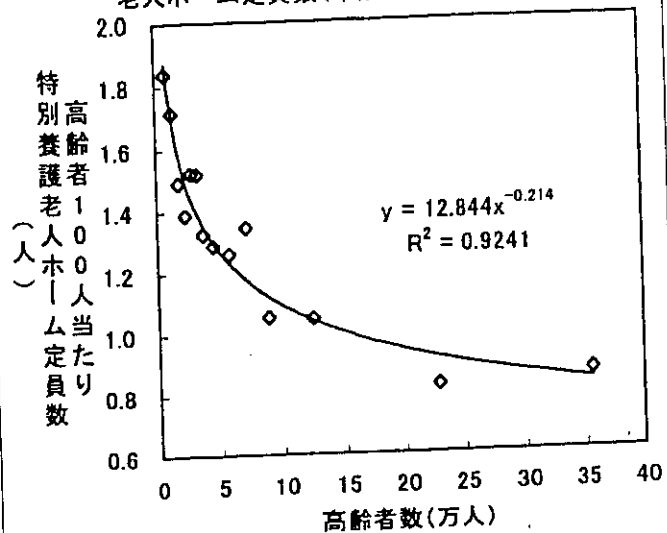


図6-1 高齢化率と人口規模
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

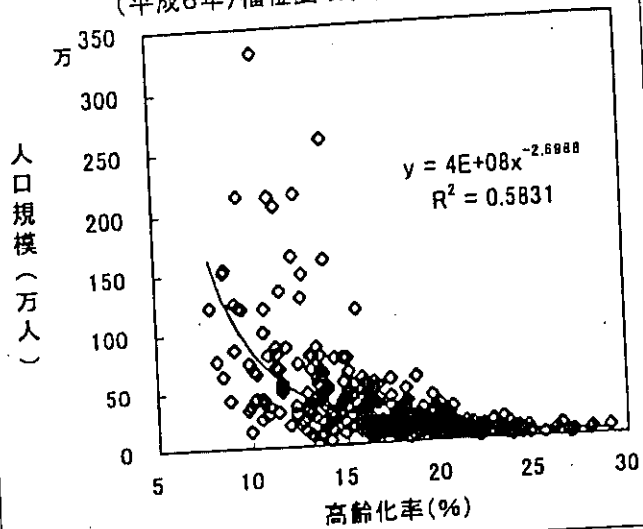


図6-2 高齢化率と高齢者数
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

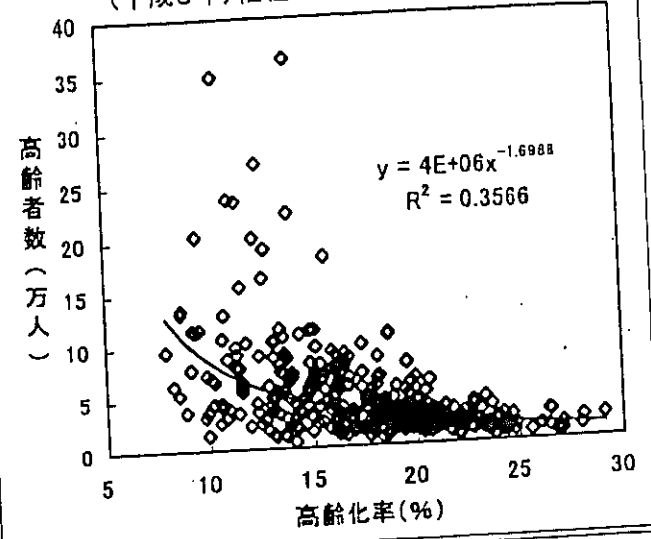


図6-3 高齢化率とホームヘルパー年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

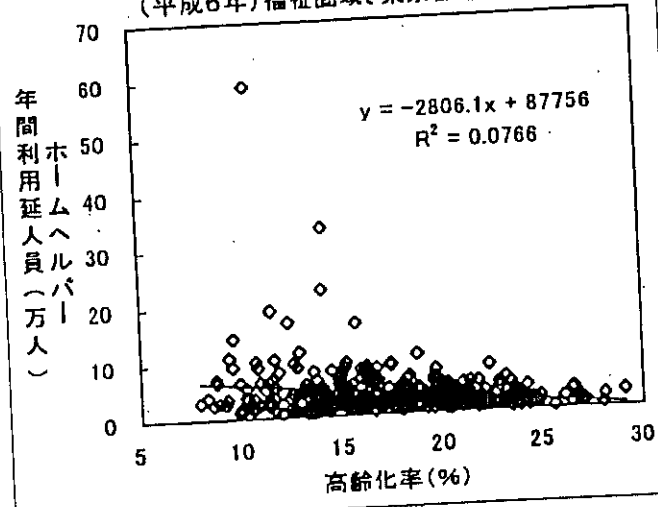


図6-4 高齢化率と高齢者100人当たりホームヘルパー年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

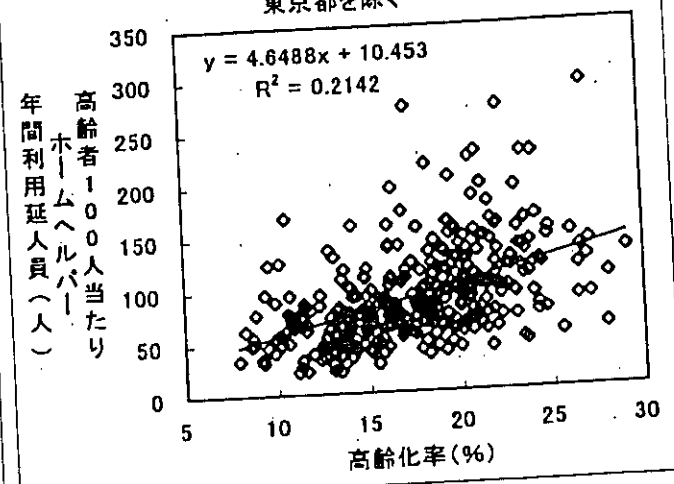


図6-5 高齢化率とデイサービス年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

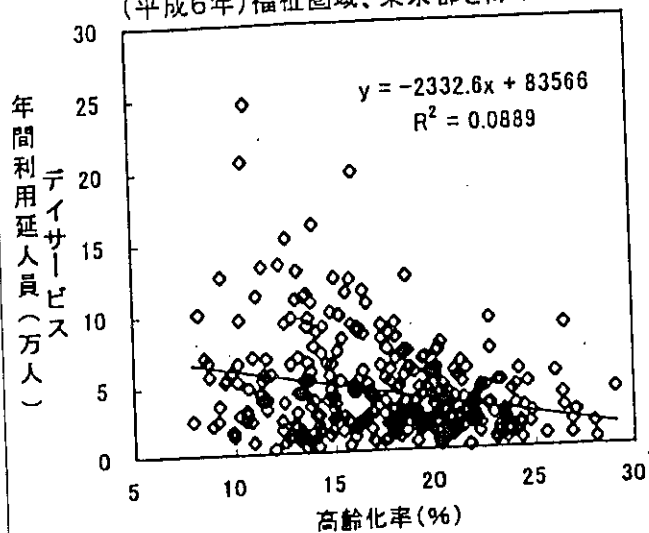


図6-6 高齢化率と高齢者100人当たりデイサービス年間利用延人員 (平成6年)福祉圏域
東京都を除く

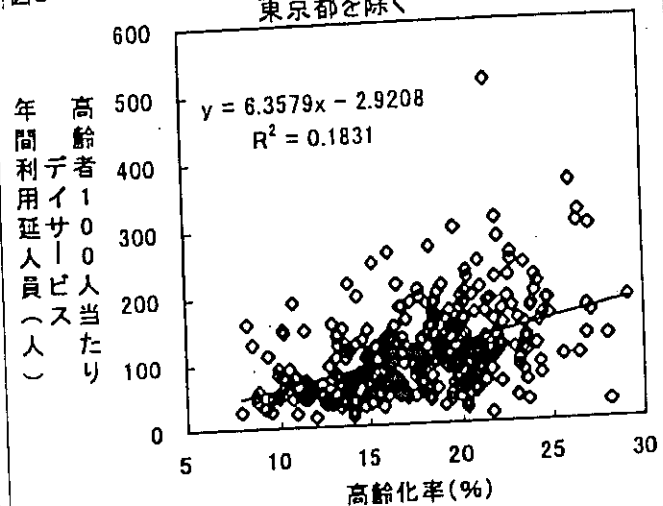


図6-7 高齢化率とショートステイ年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

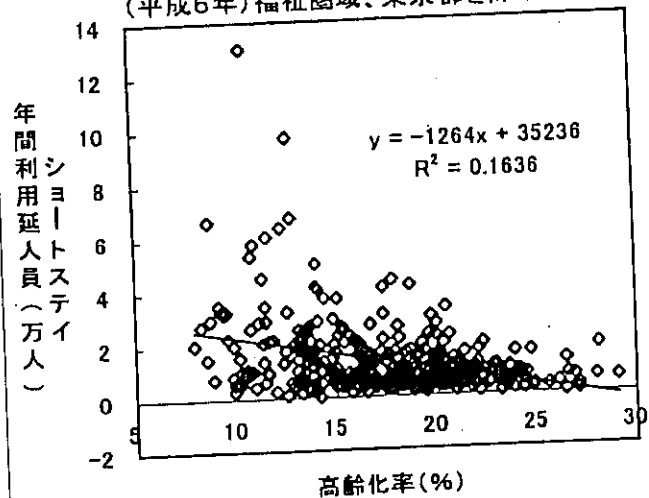


図6-8 高齢化率と高齢者100人当たりショートステイ年間利用延人員 (平成6年)福祉圏域
東京都を除く

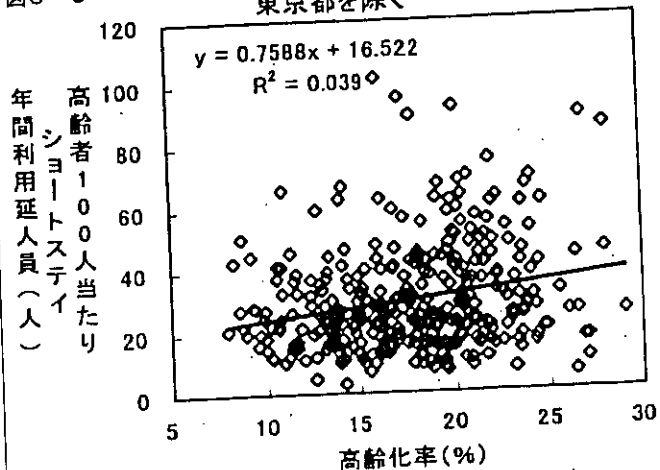


図6-9 高齢化率と特別養護老人ホーム定員数
(平成6年)福祉圏域、東京都を除く

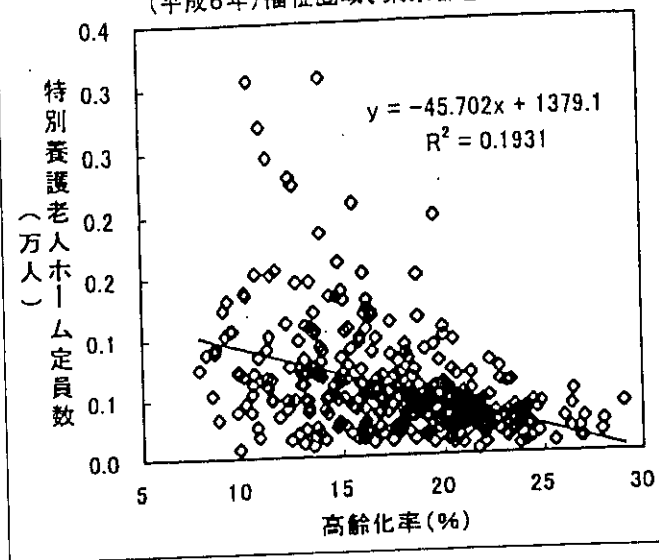


図6-10 高齢化率と高齢者100人当たり特別養護老人ホーム定員数(平成6年)福祉圏域
東京都を除く

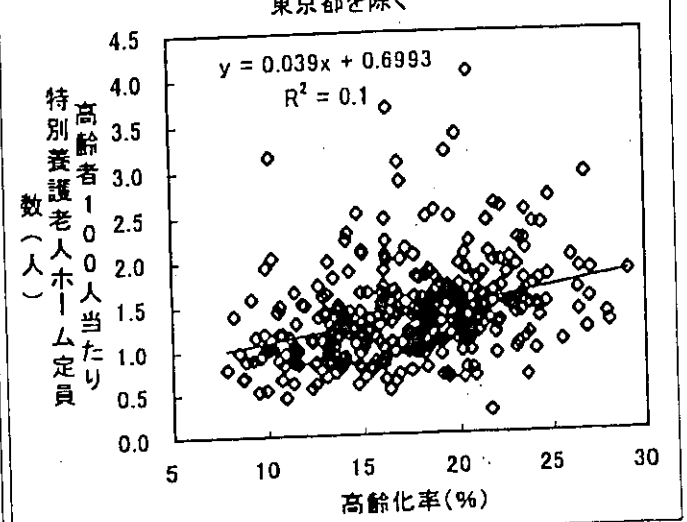


図7-1

高齢化率と人口規模
(平成6年)福祉圏域

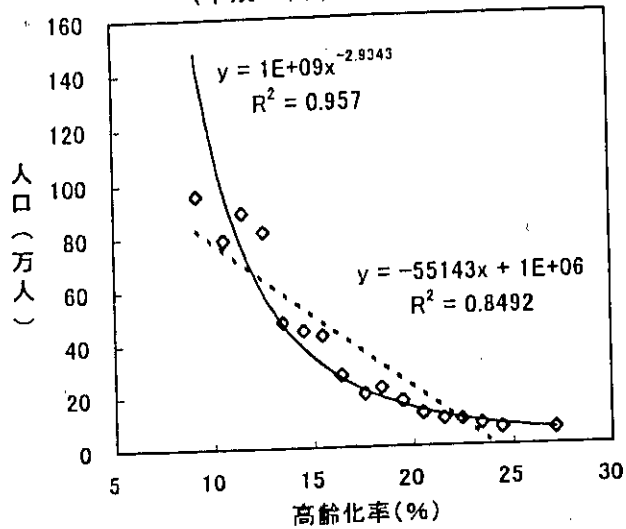


図7-2

高齢化率と高齢者数
(平成6年)福祉圏域

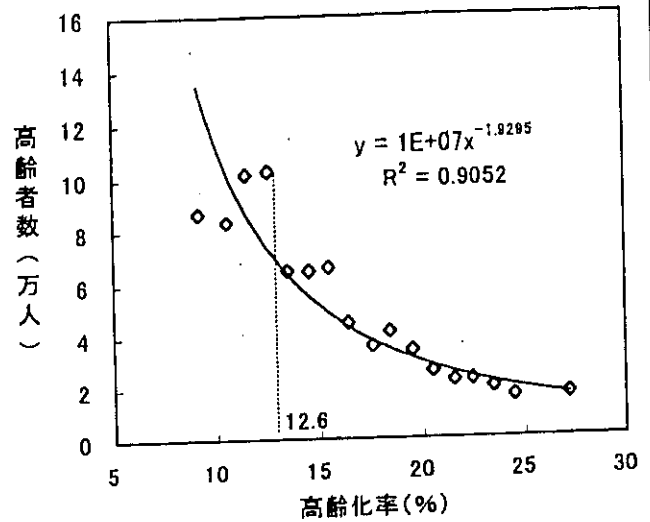


図7-3 高齢化率とホームヘルパー年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域

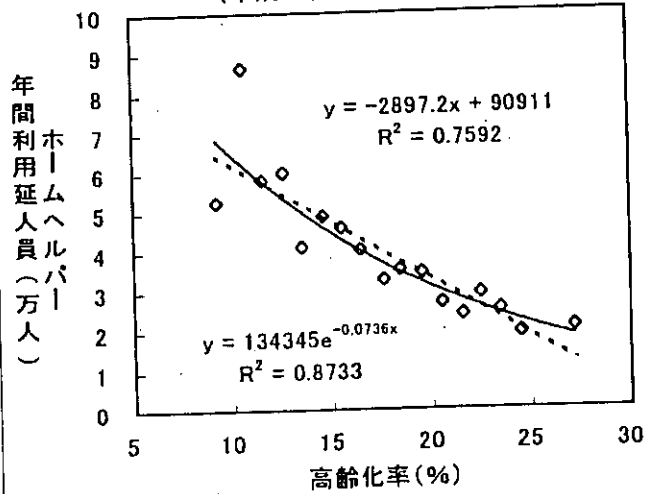


図7-4 高齢化率と高齢者100人当たりホームヘルパー
年間利用延人員(平成6年)福祉圏域

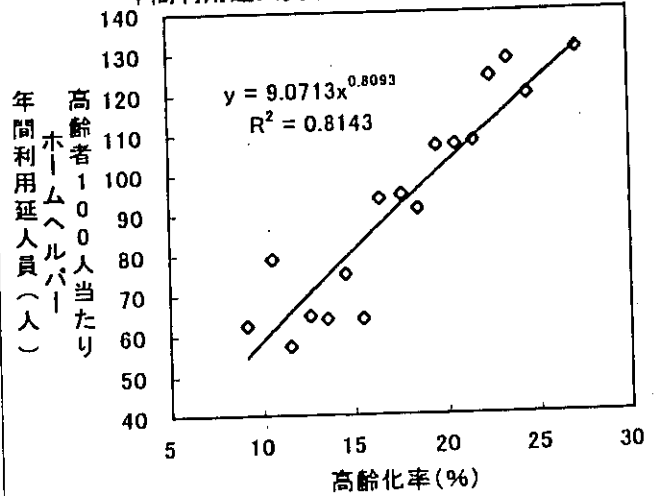


図7-5 高齢化率とデイサービス年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域

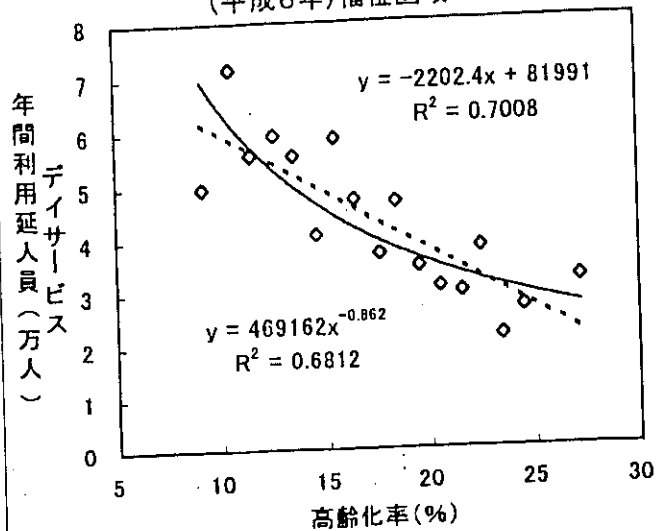


図7-6 高齢化率と高齢者100人当たりデイサービス
年間利用延人員(平成6年)福祉圏域

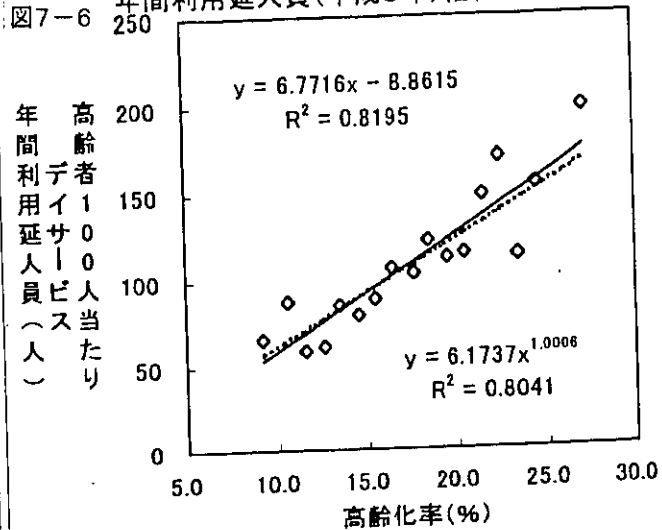


図7-7 高齢化率とショートステイ年間利用延人員
(平成6年)福祉圏域

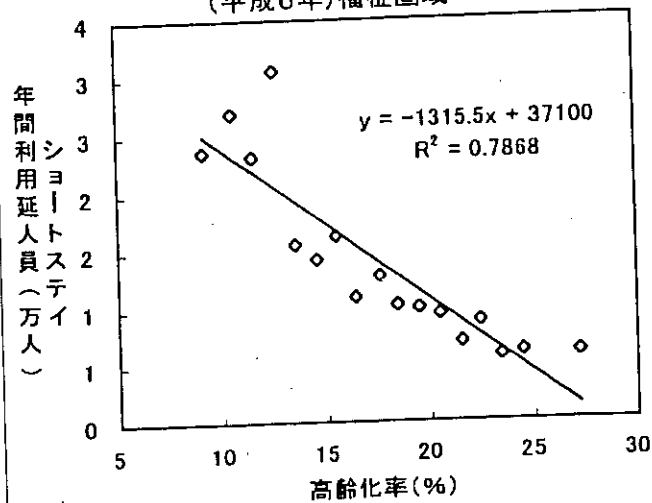


図7-8 高齢化率と高齢者100人当たりショートステイ
年間利用延人員(平成6年)福祉圏域

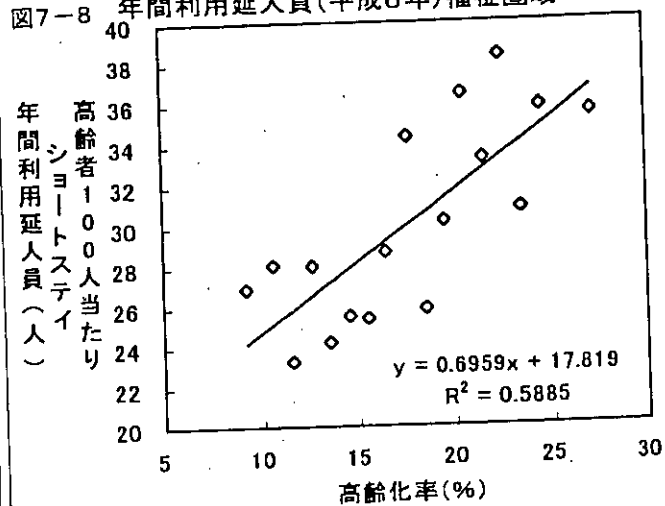


図7-9 高齢化率と特別養護老人ホーム定員数
(平成6年)福祉圏域

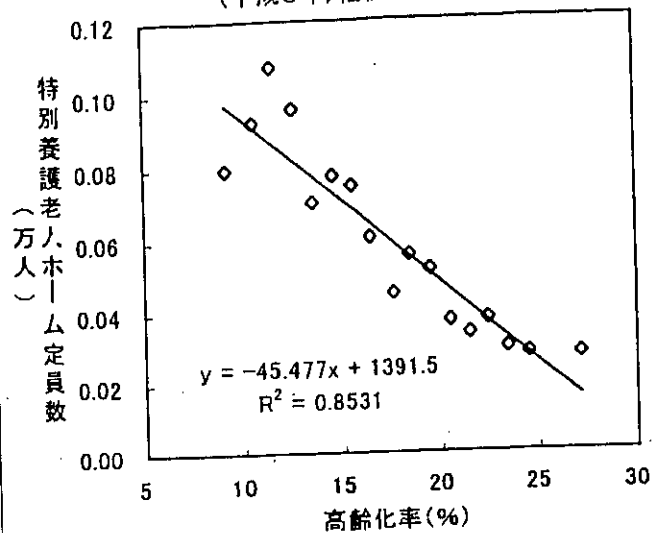


図7-10 高齢化率と高齢者100人当たり特別養護老人ホーム定員数(平成6年)福祉圏域

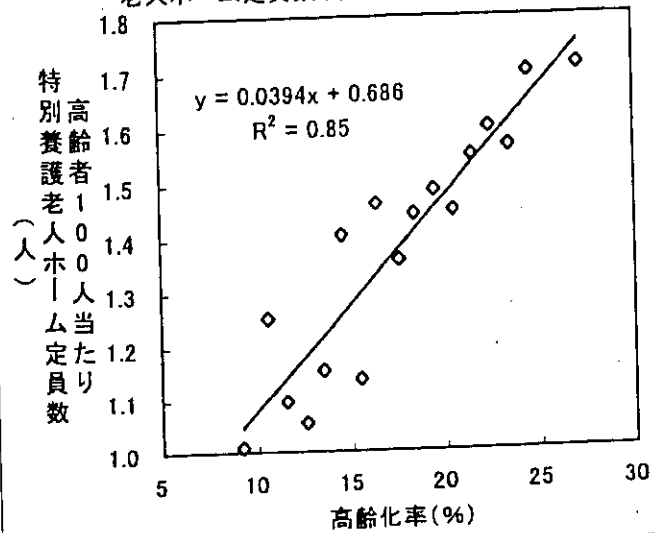


表 1

福祉圏域の人口規模と高齢者保健福祉(平成6年度)東京都を除く全福祉圏域
 $Y = a + bX$ 、 Y = 被説明変数(人、%)、 $X = P$ 又は $\ln(P)$ 、 P : 人口(人)、 $\ln$: 自然対数

	説明変数	被説明変数	サンプル数	定数項a(t値)	係数b(t値)	自由度調整済決定係数(F値)	回帰式の有意性
1	P	高齢者数	346	11,170 (14.3)	0.109922 (73.0)	0.9392 (5,334.8)	◎
2	$\ln(P)$	$\ln$ (高齢化率)	346	5.48 (45.3)	-0.216069 (-21.9)	0.5819 (481.2)	◎
3	P	ホームヘルパー年間利用延べ人員	346	10,524 (5.5)	0.085015 (23.1)	0.6067 (533.2)	◎
4	$\ln(P)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	346	7.21 (24.5)	-0.228572 (-9.5)	0.2059 (90.5)	◎
5	P	デイサービス年間利用延べ人員	346	25,503 (13.7)	0.052018 (14.6)	0.3804 (212.8)	◎
6	$\ln(P)$	$\ln$ (デイサービス年間利用延べ人員)	346	3.91 (9.1)	0.528400 (15.1)	0.3956 (226.8)	◎
7	P	ショートステイ年間利用延べ人員	346	7.65 (19.6)	-0.255532 (-8.0)	0.1558 (64.7)	◎
8	$\ln(P)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	346	4.460 (7.5)	0.026101 (22.9)	0.6020 (522.9)	◎
9	P	同上、高齢者100人当たり	346	31.59 (27.5)	-0.000005 (-2.4) ◎	0.0137 (5.8)	○
10	P	特別養護老人ホーム定員数	346	270 (15.6)	0.000932 (27.9)	0.6932 (780.4)	◎
11	$\ln(P)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	346	2.18 (8.8)	-0.157243 (-7.8)	0.1491 (61.4)	◎

注意:

係数の有意性(t値): 無印...有意水準0.01で有意、◎...有意水準0.02で有意
 回帰式の有意性(F値): ◎...有意水準0.01で有意、○...有意水準0.025で有意
 $t(344, 0.01/2) < t(240, 0.01/2) = 2.596$ 、 $t(344, 0.02/2) < t(240, 0.02/2) = 2.342$
 $F(1, 344, 0.01) < F(1, 240, 0.01) = 6.742$ 、 $F(1, 344, 0.025) < F(1, 240, 0.025) = 5.088$

表 2 老人保健福祉圏域の高齢者保健福祉(平成6年度)人口規模別

老人保健福祉圏域の人口規模 (東京都を除く)		圏域数	高齢化率の状況			ホームヘルパー利用状況		デイサービス利用状況		ショートステイ利用状況		特別養護老人ホーム	
			総人口	65歳以上人口 (高齢者数)	高齢化率	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	定員	高齢者100人当たり定員数
			(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
1	200万人以上	6	2,389,202	275,927	11.5	226,580	74.5	114,304	41.4	49,690	17.2	2,438	0.88
2	150-200万人未満	4	1,569,884	172,415	10.9	133,708	72.6	105,022	58.2	52,429	31.7	1,197	0.69
3	100-150万人未満	10	1,235,721	136,793	11.0	99,191	72.7	93,694	68.6	43,442	30.9	1,368	0.98
4	80-100万人未満	6	843,336	95,665	11.3	52,077	54.2	46,977	49.3	33,236	35.8	1,040	1.10
5	70-80万人未満	10	756,740	95,612	12.6	54,835	57.4	40,455	53.0	25,788	27.4	1,032	1.08
6	60-80万人未満	10	652,352	80,369	12.3	49,418	60.8	65,315	84.4	18,303	22.9	943	1.19
7	50-60万人未満	14	548,824	84,256	15.3	62,037	72.1	76,540	89.6	19,366	22.7	952	1.12
8	40-50万人未満	28	449,206	65,254	14.5	48,535	74.5	60,751	91.7	18,086	27.6	882	1.36
9	30-40万人未満	30	350,564	52,685	15.1	39,699	73.4	48,535	90.9	12,391	23.3	681	1.30
10	25-30万人未満	19	274,456	43,177	15.7	32,196	73.9	34,555	81.4	13,945	31.7	552	1.27
11	20-25万人未満	26	222,437	38,188	17.1	30,332	77.8	39,473	100.9	10,142	26.7	464	1.22
12	15-20万人未満	43	171,488	32,275	18.8	32,113	96.9	37,675	113.2	8,641	27.2	466	1.44
13	10-15万人未満	55	119,585	23,041	19.4	25,285	107.0	28,141	118.5	7,697	32.9	334	1.41
14	9-10万人未満	20	94,444	19,300	20.4	22,468	116.0	25,850	132.7	7,780	40.3	298	1.56
15	8-9万人未満	12	85,721	16,289	19.1	16,563	103.0	17,850	108.9	5,367	32.4	245	1.58
16	7-8万人未満	17	73,927	16,695	22.6	19,717	116.5	20,246	121.7	6,005	35.7	287	1.74
17	6-7万人未満	8	65,660	13,813	21.1	13,442	95.7	20,544	148.6	4,614	32.9	234	1.65
18	5-6万人未満	12	56,097	12,497	22.3	15,989	129.5	22,422	176.6	4,097	33.3	237	1.90
19	4-5万人未満	10	44,879	10,476	23.4	13,567	133.4	17,212	161.4	3,436	32.2	177	1.72
20	4万人未満	6	33,321	8,119	24.5	12,009	152.4	17,479	214.5	2,889	36.5	141	1.75

長寿社会開発センター「老人保健福祉マップ」より筆者作成。

表3 老人保健福祉圏域の人口規模と高齢者保健福祉(平成6年度)
 $Y = a + bX$, Y = 被説明変数(人、%), $X = P$ 又は $\ln(P)$, P :人口(人), $\ln$:自然対数

説明変数	被説明変数	サンプル	定数項a(t値)	1次の係数b(t値)	自由度調整済決定係数(F値)	回帰式の有意性
1 P	高齢者数(65歳以上人口)	20	9.907 (5.83)	0.1091 (50.21)	0.9925 (2521.5)	◎
2 $\ln(P)$	$\ln$ (高齢化率)	20	5.40 (40.17)	-0.2095 (-19.46)	0.9521 (378.6)	◎
3 P	ホームヘルパー年間利用延べ人員	20	8.754 (2.85)◎	0.0822 (20.94)	0.9584 (438.4)	◎
4 $\ln(P)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	20	6.96 (20.83)	-0.2012 (-7.51)	0.7445 (56.4)	◎
5 $\ln(P)$	$\ln$ (デイサービス年間利用延べ人員)	20	4.54 (11.60)	0.4883 (15.55)	0.9269 (241.9)	◎
6 $\ln(P)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	20	8.35 (23.76)	-0.3021 (-10.73)	0.8572 (115.1)	◎
7 P	ショートステイ年間利用延べ人員	20	5.244 (3.60)	0.0242 (12.99)	0.8982 (168.7)	◎
8 $\ln(P)$	$\ln$ (ショートステイ年間利用延べ人員)	20	0.75 (2.41)○	0.6960 (28.06)	0.9764 (787.3)	◎
9 P	同上、高齢者100人当たり	20	32.49 (22.63)	-4.8E-06 (-2.64)◎	0.2385 (7.0)	○
10 P	特別養護老人ホーム定員数	20	259 (5.93)	0.0009 (15.69)	0.9281 (246.1)	◎
11 $\ln(P)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	20	2.62 (12.45)	-0.1894 (-11.23)	0.8682 (126.2)	◎

注意:

係数の有意性(t値): 無印...有意水準0.01で有意、◎...有意水準0.02で有意、○...有意水準0.05で有意、
 回帰式の有意性(F値): ◎...有意水準0.01で有意、○...有意水準0.025で有意、△...有意水準0.05で有意、
 $t(18, 0.01/2) = 2.878$, $t(18, 0.02/2) = 2.552$, $t(18, 0.05/2) = 2.101$, $t(18, 0.10/2) = 1.734$, $t(18, 0.20/2) = 1.330$
 $F(1, 18, 0.01) = 8.285$, $F(1, 18, 0.025) = 5.978$, $F(1, 22, 0.05) = 4.414$

表 4

福祉圏域の高齢者数と高齢者保健福祉(平成6年度)東京都を除く全福祉圏域
 $Y=a+bX$, Y =被説明変数(人、%), $X=K$ 又は $\ln(K)$, K :高齢者数(人), $\ln$:自然対数

4

福祉圏域の高齢者数と関係する変数として、人口規模、高齢者数、高齢者率、高齢者100人当たり、高齢者100人当りの高齢者数、高齢者100人当りの高齢者率、高齢者100人当りの高齢

注意:
 係数の有意性(t値):無印...有意水準0.01で有意, ◎...有意水準0.02で有意, ×...有意水準0.20で有意でない
 回帰式の有意性(F値):◎...有意水準0.01で有意, ○...有意水準0.025で有意
 $t(344, 0.01/2) < t(240, 0.01/2) = 2.596$, $t(344, 0.02/2) < t(240, 0.02/2) = 2.342$, $t(344, 0.20/2) < t(240, 0.20/2) = 1.285$
 $F(1, 344, 0.01) < F(1, 240, 0.01) = 6.742$, $F(1, 344, 0.025) < F(1, 240, 0.025) = 5.088$

表 5 老人保健福祉圏域の高齢者保健福祉(平成6年度)高齢者数別

老人保健福祉圏域の高齢者数 (東京都を除く)	圏域数	高齢化率の状況			ホームヘルパー利用状況		デイサービス利用状況		ショートステイ利用状況		特別養護老人ホーム	
		総人口	65歳以上人口 (高齢者数)	高齢化率	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	定員	高齢者100人当たり定員数
		(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
1 30万人以上	2	2,942,730	356,222	12.3	463,156	130.8	146,723	41.6	85,413	24.2	3,065	0.86
2 20~30万未満	6	1,946,402	227,837	11.8	138,278	61.9	114,740	50.8	40,228	18.1	1,912	0.82
3 10~20万未満	21	1,033,440	124,782	12.7	83,685	67.0	94,613	77.9	37,588	29.4	1,299	1.05
4 8~10万未満	21	648,392	88,921	14.3	59,343	66.8	69,037	78.1	21,945	24.6	932	1.06
5 6.5~8万未満	27	512,895	71,141	14.5	49,150	68.9	63,377	89.2	19,942	28.1	956	1.34
6 5~6.5万未満	30	387,882	57,581	15.7	44,608	77.7	51,004	88.1	15,714	27.3	722	1.26
7 4~5万未満	29	293,410	44,837	16.1	35,370	79.0	45,890	101.7	12,595	28.0	577	1.29
8 3.5~4万未満	33	225,803	37,040	17.4	31,821	85.9	42,858	115.7	8,120	22.0	490	1.32
9 3~3.5万未満	21	189,497	32,514	18.2	35,814	111.1	33,478	103.7	9,683	30.1	491	1.52
10 2.5~3万未満	26	153,563	27,867	19.1	27,235	98.0	35,129	126.5	10,110	36.3	422	1.52
11 2~2.5万未満	38	119,707	22,852	19.9	21,511	94.3	23,742	103.6	7,688	34.0	316	1.39
12 1.5~2万未満	47	91,156	17,762	20.0	19,461	109.4	21,228	119.6	5,744	32.4	262	1.49
13 1~1.5万未満	36	66,866	12,774	20.3	14,535	115.3	19,113	150.0	4,382	34.2	218	1.71
14 1万未満	9	36,885	8,147	22.7	11,753	148.0	15,351	188.2	2,637	32.8	147	1.84

長寿社会開発センター「老人保健福祉マップ」より筆者作成。

表 6 老人保健福祉圏域の高齢者数と高齢者保健福祉(平成6年度)
 $Y = a + bX$, Y = 被説明変数(人、%), $X = K$ 又は $\ln(K)$, K : 高齢者数(65歳以上人口)人口(人), $\ln$: 自然対数

説明変数	被説明変数	サンプル数	定数項a(t値)	1次の係数b(t値)	2次の係数c(t値)	自由度調整済決定係数(F値)	回帰式の有意性
1 K	人口	14	-73638 (-6.09)	8.5639 (88.16)		0.9983 (7,772.4)	◎
2 $\ln(K)$	$\ln$ (高齢化率)	14	4.83 (36.70)	-0.1883 (-15.47)		0.9483 (239.2)	◎
3 K	ホームヘルパー年間利用延べ人員	14	-16244 (-1.12) ×	1.1175 (9.60)		0.8752 (92.1)	◎
K, K^2	ホームヘルパー年間利用延べ人員	14	29906 (3.09)	-0.1874 (-0.92) ×	3.82E-06 (6.66)	0.9730 (234.8)	◎
4 $\ln(K)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	14	5.93 (8.73)	-0.1328 (-2.11) □		0.2100 (4.5)	×
$\ln(K)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	13	7.30 (25.50)	-0.2665 (-9.89)		0.8898 (97.9)	◎
5 $\ln(K)$	$\ln$ (デイサービス年間利用延べ人員)	14	3.85 (14.14)	0.6374 (25.27)		0.9800 (638.4)	◎
6 $\ln(K)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	14	8.42 (30.30)	-0.3588 (-13.94)		0.9370 (194.5)	◎
7 K	ショートステイ年間利用延べ人員	14	2384 (1.49) ×	0.2198 (17.12)		0.9574 (293.1)	◎
8 $\ln(K)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	14	4.74 (12.26)	-0.1306 (-3.65)		0.4861 (13.3)	◎
9 K	特別養護老人ホーム定員数	14	191 (6.14)	0.0081 (32.39)		0.9877 (1,049.0)	◎
10 $\ln(K)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	14	2.55 (13.35)	-0.2140 (-12.09)		0.9178 (146.1)	◎

注意:

係数の有意性(t値): 無印...有意水準0.01で有意、◎...有意水準0.02で有意、○...有意水準0.05で有意、
□...有意水準0.10で有意、△...有意水準0.20で有意、×...有意水準0.20で有意でない
回帰式の有意性(F値): ◎...有意水準0.01で有意、○...有意水準0.025で有意、△...有意水準0.05で有意、
×...有意水準0.05で有意でない

t(12, 0.01/2)=3.055, t(12, 0.02/2)=2.681, t(12, 0.05/2)=2.179, t(12, 0.10/2)=1.782, t(12, 0.20/2)=1.356

F(1, 12, 0.01)=9.330, F(1, 12, 0.025)=6.554, F(1, 12, 0.05)=4.747

サンプル数13は、高齢者数の最大規模階層を除く場合。

表7

福祉圏域の高齢化率と高齢者保健福祉(平成6年度)東京都を除く全福祉圏域
 $Y=a+bX$ 、 Y =被説明変数(人、%)、 $X=R$ 又は $\ln(R)$ 、 R :高齢化率(%), $\ln$:自然対数

説明変数	被説明変数	サンプル数	定数項a(t値)	係数b(t値)	自由度調整済決定係数(F値)	回帰式の有意性
1 $\ln(R)$	$\ln$ (人口規模)	346	19.88 (56.80)	-2.6988 (-21.94)	0.5819 (481.2)	◎
2 $\ln(R)$	$\ln$ (高齢者数)	346	15.27 (43.64)	-1.6988 (-13.81)	0.3547 (190.7)	◎
3 R	ホームヘルパー年間利用延べ人員	346	87,756 (9.24)	-2,806.1 (-5.34)	0.0739 (28.5)	◎
4 R	同上、高齢者100人当たり	346	10.45 (1.20) x	4.6488 (9.68)	0.2119 (93.8)	◎
5 R	デイサービス年間利用延べ人員	346	83,566 (11.48)	-2,332.6 (-5.79)	0.0862 (33.6)	◎
6 R	同上、高齢者100人当たり	346	-2.92 (-0.22) x	6.3579 (8.78)	0.1807 (77.1)	◎
7 R	ショートステイ年間利用延べ人員	346	35,236 (12.65)	-1,264.0 (-8.20)	0.1612 (67.3)	◎
8 R	同上、高齢者100人当たり	346	16.52 (4.50)	0.7588 (3.74)	0.0363 (14.0)	◎
9 R	特別養護老人ホーム定員数	346	1,379 (15.14)	-45,702.0 (-9.07)	0.1908 (82.3)	◎
10 R	同上、高齢者100人当たり	346	0.70 (6.14)	0.0390 (6.18)	0.0974 (38.2)	◎

注意:

係数の有意性(t値):無印...有意水準0.01で有意、x...有意水準0.20で有意でない
 回帰式の有意性(F値):◎...有意水準0.01で有意

$t(344, 0.01/2) < t(240, 0.01/2) = 2.596$, $t(344, 0.20/2) < t(240, 0.20/2) = 1.285$

$F(1, 344, 0.01) < F(1, 240, 0.01) = 6.742$

表8 老人保健福祉圏域の高齢者保健福祉(平成6年度)高齢化率別

老人保健福祉圏域の高齢化率 (東京都を除く)	圏域数	高齢化率の状況			ホームヘルパー利用状況		デイサービス利用状況		ショートステイ利用状況		特別養護老人ホーム	
		総人口	65歳以上人口 (高齢者数)	高齢化率	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	年間利用延べ人員	高齢者100人当たり年間利用延べ人員	定員	高齢者100人当たり定員数
		(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
1 26%以上	11	61,553	16,691	27.1	20,522	130.4	32,075	197.9	5,981	35.5	277	1.71
2 24~26%未満	12	66,641	16,270	24.5	19,306	119.3	26,713	154.6	6,074	35.8	281	1.70
3 23~24%未満	16	84,627	19,815	23.4	25,062	128.2	21,469	113.6	5,766	30.8	298	1.56
4 22~23%未満	13	101,380	22,777	22.4	29,255	123.9	38,094	170.3	8,786	38.3	378	1.60
5 21~22%未満	22	105,240	22,594	21.5	23,870	108.0	29,761	148.3	6,979	33.3	339	1.55
6 20~21%未満	34	127,381	26,076	20.5	26,870	107.2	30,718	115.2	9,470	36.4	374	1.45
7 19~20%未満	30	174,791	34,127	19.5	34,396	106.9	34,639	112.4	10,025	30.2	516	1.49
8 18~19%未満	29	226,048	41,644	18.4	35,109	91.0	46,791	122.6	10,273	25.9	557	1.44
9 17~18%未満	23	203,861	35,871	17.6	32,623	94.8	37,122	103.5	12,781	34.4	451	1.36
10 16~17%未満	32	275,365	45,168	16.4	40,401	93.8	47,311	106.5	10,953	28.7	607	1.46
11 15~16%未満	19	426,268	65,861	15.5	45,860	63.9	58,683	88.8	16,289	25.4	751	1.14
12 14~15%未満	23	445,828	64,463	14.5	48,735	75.0	40,906	79.5	14,318	25.5	778	1.40
13 13~14%未満	30	478,450	64,695	13.5	41,092	64.0	55,488	85.4	15,621	24.2	706	1.15
14 12~13%未満	11	816,169	102,523	12.6	60,013	64.8	59,365	61.3	30,642	28.0	961	1.06
15 11~12%未満	13	887,262	101,495	11.5	57,997	57.2	55,573	58.8	23,230	23.3	1,077	1.10
16 10~11%未満	13	786,966	83,265	10.6	86,482	79.0	71,642	87.4	26,971	28.1	923	1.25
17 10%未満	15	955,179	86,648	9.2	52,536	62.3	49,676	65.8	23,625	26.9	796	1.01

長寿社会開発センター「老人保健福祉マップ」より筆者作成。

老人保健福祉圏域の高齢化率と高齢者保健福祉(平成6年度)

表 9

$Y = a + bX_1 + cX_2$, Y = 被説明変数(人、%), $X_1 = R$ 又は $\ln(R)$, $X_2 = X_1^2$, R : 高齢化率(%), $\ln$: 自然対数

説明変数	被説明変数	サンプル数	定数項a(t値)	1次の係数b(t値)	2次の係数c(t値)	自由度調整済決定係数(F値)	回帰式の有意性
1 R	人口数	17	1,334.921 (12.17)	-55143 (-9.19)		0.8391 (84.5)	◎
2 $\ln(R)$	$\ln$ (人口数)	17	20.70 (45.42)	-2.9343 (-18.27)		0.9541 (333.8)	◎
3 $\ln(R)$	$\ln$ (高齢者数)	17	16.08 (35.15)	-1.9295 (-11.97)		0.8989 (143.2)	◎
4 R	ホームヘルパー年間利用延べ人員	17	90.911 (11.80)	-2897 (-6.88)		0.7431 (47.3)	◎
5 R^2	ホームヘルパー年間利用延べ人員	17	121.669 (4.83)	-6656 (-2.24) ○	105.5 (1.28) ×	0.7536 (25.5)	◎
6 $\ln(R)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	17	2.21 (7.79)	0.8093 (8.11)		0.8020 (65.8)	◎
7 R	デイサービス年間利用延べ人員	17	81.991 (12.07)	-2202 (-5.93)		0.6809 (35.1)	◎
8 $\ln(R)$	$\ln$ (デイサービス年間利用延べ人員)	17	13.06 (30.22)	-0.8620 (-5.66)		0.6600 (32.1)	◎
9 R	同上、高齢者100人当たり	17	-8.86 (-0.59) ×	6.7716 (8.25)		0.8075 (68.1)	◎
10 $\ln(R)$	$\ln$ (同上、高齢者100人当たり)	17	1.82 (5.03)	1.0006 (7.85)		0.7910 (61.6)	◎
11 R	ショートステイ年間利用延べ人員	17	37.100 (11.47)	-1315 (-7.44)		0.7726 (55.4)	◎
12 R^2	ショートステイ年間利用延べ人員	17	17.82 (6.48)	0.6959 (4.63)		0.5610 (21.5)	◎
13 R	特別養護老人ホーム定員数	17	1.392 (15.62)	-45.48 (-9.33)		0.8433 (87.1)	◎
14 R^2	同上、高齢者100人当たり	17	0.69 (8.78)	0.0394 (9.22)		0.8400 (85.0)	◎

注意: 係数の有意性(t値): 無印...有意水準0.01で有意、○...有意水準0.05で有意、×...有意水準0.20で有意でない

回帰式の有意性(F値): ◎...有意水準0.01で有意

t(15, 0.01/2)=2.947, t(15, 0.02/2)=2.602, t(15, 0.05/2)=2.131, t(15, 0.10/2)=1.753, t(15, 0.20/2)=1.341

F(1, 15, 0.01)=8.683